君津中地区社会福祉協議会だより 第56号　　平成31年3月14日(木)

ふれあいと
支えあい
豊かな地域社会

地区通信

題字は故斎藤翠谷先生

発　行
君津中地区社会福祉協議会
編　集
同上広報事業部会
連絡先
君津市保健福祉センター
TEL　57-2250
FAX　54-2941

児童と高齢者の交流 楽しかった！ゲーム

今年も、「児童と高齢者の交流を図るイベント」を南子安小学校の体育館で、11月17日開催しました。木更津からレクリエーション協会の講師をお迎えし、北子安・南子安・貞元小学校の児童、地域の高齢者の方、約100名の参加者があり、にぎやかなイベントとなりました。

準備運動のあと、各地域から集まった方を8チームに分けて対抗戦が始まりました。賞品を目当てに白熱したゲームが展開され、参加者全員が楽しい時間を過ごしました。

昨年の反省から各ゲームにスタッフが付き、スムーズな進行で終えることが出来ました。

今後、参加者の皆さんは、どこかで出会った時は挨拶を交わすようになることでしょう。地域のコミュニケーションの輪が確実に広がったと思っています。

うーん！むずかしい「豆つまみ」ゲーム

うまく渡せるかな？「みつめてハッピー」ゲーム

新聞うまくさけないな！「新聞くぐり」ゲーム

ゲーム終了後「表彰」を待つ皆さん

君津中地区社会福祉協議会の活動にご協力いただける方を募集しています。
〈問い合せ先〉君津市社会福祉協議会 中地区担当　☎ 57－2250

ふれあい食事会

広がった交流の輪

生涯学習交流センター　11月28日（水）

70歳以上のひとり暮らし高齢者とボランティアの方との食事会が、約200人の参加をいただき、今年も盛大に開催されました。食事ボランティアの心のこもった料理を頂きながら、日頃活動されているグループの演芸を楽しみ、最後は、全員が二重の輪になって、炭鉱節を踊り楽しく終わりました。

「すみれ会」の大正琴

話がはずむ交流の場

「李師福寿会」の舞踊

たのしかった 演芸会の様子

「君津バンブーシューツスクェアーズ」のダンス

「アルモニーク」のオカリナ演奏

「紫扇会」の舞踊

なつかしいフォークソング

輪になって踊る炭鉱節

「支えられ 今度は自分が 支える番」

福祉の標語コンクール 君津市長賞　北子安小学校６学年　大島 暖多

第47回君津市社会福祉大会が、【いつまでも住み続けたい支えあいのまちをめざして】をテーマに、君津市民文化ホールの中ホールで開催されました。永年にわたり社会福祉活動に貢献された方々と福祉の標語コンクール入賞者の表彰が行われました。中地区での標語の入選作は、栄誉ある君津市長賞に上記の大島君が、優秀賞は下記の皆さんが受賞されました。入選者の児童のしっかりした堂々たる発表に来賓の方やホールに詰めかけていた方々も感心していました。その後の記念講演では元NHKアナウンサーの宮田修氏が、「こころを楽にする生き方」をテーマに講演されました。

優 秀 賞

南子安小学校	2学年	庄司 真那斗	貞元小学校	1学年	田村 敬典
	4学年	原 聖矢		1学年	永塚 心晴
	6学年	原 悠夏		6学年	半沢 花音
君津中学校	2学年	茂田 康佑			

市長賞の授与

≪平成30年度 年間事業≫

あいさつ運動

子どもたちの見守りの一環として、各小学校の校門や通学路にて、朝あいさつを交わしています。毎月継続していると、子どもたちの方から元気なあいさつをしてくれるようになります。

これからも、この運動を通して、子どもたちとのコミュニケーションを図りたいと思います。また、地域にあいさつの輪が広がって、よりよい地域となることを願っています。

あいさつ運動は、毎月第2・第3月曜日（南子安小学校区のみ第2月曜日）7:20～8:00に実施しています。

貞元小学校

南子安小学校

北子安小学校

子育てサロン

0歳から就学前の子どもたちと保護者のふれあいの場として、毎月第2水曜日AM10:00～12:00に保健福祉センターで開催しています。子育て中の悩みなどを、参加する方々との間で情報交換することで、子育てが楽しくなる糸口になればと思います。

専門の講師による、わらべ歌・手遊び・折り紙を楽しみ、季節行事としては七夕・クリスマス会を行います。　また、健康づくり課に依頼して栄養指導・虫歯予防等を開催しています。

月1回ですが、お母さんや保護者の方が楽しく子育てができるように応援していきたいと思います。

クリスマス会
サンタさんとあそぼ！

健康づくり課の講師による
学習会

高齢者のうんどう教室

今やれることが、5年後にできれば、それでいいのです。健康づくりは、人と比べることでも、勝つことでもなく、自分にあった運動を安全に楽しく自分の意志で継続することです。「うんどう教室」はその習慣化の場所です。また、バスハイクや暑気払い、花見など親睦交流も行っています。

毎月第2・第4水曜日10:00～11:00に、保健福祉センターで教室を開催しています。

ぜひ参加してください。

「うんどう教室」のお楽しみ企画

① 紅葉バスハイク　22名参加
　濃溝の滝・大山千枚田・崖観音・道の駅「保田小学校」などへ

② 新年懇親会　15名参加

君津中地区福祉推進委員会議より地域の皆さまへ

君津市社会福祉協議会

マスコットキャラクター

ほのぴー

皆さん一人が一役
できることから地域福祉の活動をしませんか？

君津中地区福祉推進委員会議は、君津市地域福祉計画に基づく活動計画を、具体的に推進する機関で、現在２１名の推進委員がいます。自治会、地区社会福祉協議会等地域で活動している団体の代表の皆さんが主になっています。任期は２年で、平成３１年３月３１日までです。代表委員は平均月１回の割合で会議や催しを行っています。

中地区の取り組み

『中地区に住む住民が地域福祉への理解を深め、福祉活動に参加する機運をつくること』

中地区の皆さんは基本的に地域を良くしたいという気持ちがあり、様々な場所で活動をされています。しかし、課題解決にはもっと多くの皆さんの力が必要です。

そのためには、福祉の情報・知識を高め、どんな姿勢で、どんなボランティアをしたらいいのか等について、考察し実践できるようにすることが、重要であると考えました。

具体的に「意見交換会」という取り組みを始めました。市民の皆さんは互いにいろいろな場所で活動をし、様々な知識・考えを持っています。それを一人だけに留めずに、所属団体などの場に持ち寄って話し合い、情報や考えを共有し、福祉についての理解を高めることがねらいになります。

意見交換会の内容

この２年間で計５回の意見交換会を実施し、いろいろなテーマを取り上げました。特に「ボランティアは有償がいいのか無償がいいのか」、「自治会等の団体の福祉活動参加と実情について」、また「地域では個人やグループがボランティア活動で活躍されることが多くなってきている」など、実り多い意見交換の場となっております。

白熱した意見が交換されました

今後の方向について

「意見交換会」を今後とも地道に続けてゆくことが重要と考えています。改善策として、運営の柱を代表委員会だけでなく、メンバーをさらに拡大して運営委員会を発足させること、また、多くの住民参加の場にしていくことも課題となります。誰もが参加の一人一役のボランティア活動が目的です。

編集後記

平成もあと2ヶ月足らずで終わります。様々なイベントで「平成最後の○○…」という言葉を耳にします。最後というと寂しい気持ちになってしましますが、物事は始まりがあれば必ず終わりがあります。平成の終わりは、新しい時代の始まりでもあります。お年寄りも、子どもも、大人も、身体が不自由な方も、すべての君津市民が楽しく暮らせるよう、小さなことでも今できることから始めようではありませんか。（O・H）